

大分市魅力発信アンバサダー 就任者プロフィール

就任者(五十音順)

■ 北村 直登(きたむら なおと)氏



画家

大分市在住

年 齢:45歳

略 歴

福岡県春日市出身。16歳でブラジルへサッカー留学後、大分県の高校へ進学。大学卒業後、2004年頃より絵を描き始める。

路上で絵を描き売りながら、美術展での入賞や個展の開催などを経て、徐々に大分を代表とする画家へと成長。

2014年にはドラマ「昼顔～平日午後3時の恋人たち～」に絵画が起用され、その名は全国区へ。2021年7月～9月まで大分市美術館で開催された「北村直登展」では、コロナ禍にもかかわらず全国から28,000人以上もの来場者を迎えた。

その他、全国の百貨店などでの催事や、自治体や企業とのコラボレーション企画、美術館や神社でのワークショップやライブペイントなど、活動の幅を広げている。

最近では、YouTube や TikTok などにも挑戦し、若者からの注目を集めている。

■ 敷根 崇裕(しきね たかひろ)氏



NEXUS フェンシングクラブ所属

フェンシング フルーツ日本代表

大分市出身

年 齢:26歳

略 歴

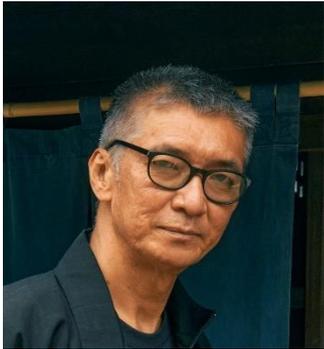
フェンシング・フルーツ日本代表

【パリオリンピック・男子フルーツ団体「金メダル」】

2017年フェンシング世界選手権にて、フルーツ個人で銅メダルを獲得する。同年夏季のユニバーシアードでは、男子フルーツ団体で金メダル。オリンピック出場は東京大会に続く二大会連続出場。東京大会では、個人戦4位、団体戦4位、ともに入賞。パリオリンピックでは、フルーツ日本代表の最後のアンカーとして活躍。

*日本はフェンシング男子フルーツ団体 世界ランキング1位。

■ 成島 出(なるしま いずる)氏



映画監督

山梨県出身

年 齢:63 歳

略 歴

1961 年生まれ。1994 年から脚本家として活躍した後、初監督作「油断大敵」(2003 年)で藤本賞新人賞、ヨコハマ映画祭新人監督賞を受賞。「八日目の蟬」(2011 年)は日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞を含む 10 部門を受賞する。その他、「フライ,ダディ,フライ」(2005 年)、「孤高のメス」(2010 年)、「聯合艦隊司令長官 山本五十六」(2011 年)、「ソロモンの偽証 前篇・事件」(2015 年)、「ソロモンの偽証 後篇・裁判」(2015 年)、「ちょっと今から仕事やめてくる」(2017 年)、「グッドバイ～嘘からはじまる人生喜劇～」(2019 年)、「いのちの停車場」(2021 年)、「ファミリア」(2022 年)、「銀河鉄道の父」(2023 年)など多岐にわたるジャンルで、常に高く評価される作品を送り出している。「52 ヘルツのクジラたち」(2024 年)では、作品の舞台として大分市田ノ浦地区や佐賀関地区で撮影を行った。

■ 平川 雄一郎(ひらかわ ゆういちろう)氏



演出家・映画監督

大分市出身

年 齢:52 歳

略 歴

1972 年 1 月 23 日生まれ。日本工学院専門学校放送芸術科を卒業後、テレビドラマの演出補を経て多くの作品の演出を手がける。

主な作品(ドラマ)

TBS「白夜行」(2006 年)、TBS「ROOKIES」(2008 年)、TBS「JIN-仁-」(2009 年・2011 年)、TBS「とんび」(2013 年)、TBS「天皇の料理番」(2015 年)、TBS「義母と娘のブルース」(2018 年)、TBS「天国と地獄～サイコな二人」(2020 年)など

主な作品(映画)

映画「そのときは彼によろしく」(2007 年)、「ROOKIES～卒業～」(2009 年)、「ツナグ」(2012 年)、「僕だけがいない街」(2016 年)、「約束のネバーランド」(2020 年)、「耳をすませば」(2022 年)など

近年は Netflix「御手洗家、炎上する」、テレビ朝日「マルス-ゼロの革命-」、フジテレビ「366 日」、TBS「義母と娘のブルース FINAL」などを監督